

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第7回 藤岡地域会議
開催日時	平成29年11月28日午後6時30分開会・午後7時33分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	・栃木市消防団再編計画（案）について（消防総務課意見聴取） ・その他 地域予算提案制度に関する「地域の課題」について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◎会長 ○消防総務課 ◎A委員 ○消防総務課	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 小曾根会長よりあいさつがあった。</p> <p>3 議事 (1) 栃木市消防団再編計画（案）について（消防総務課意見聴取） <説明> 担当課に対し、協議事項の説明を求めた。 資料に基づいて説明した。 <質疑・意見等> 前回の地域会議の際に、消防庁舎整備基本構想についての意見聴取があり、消防署、分署施設の関係であったと思う。今回は各地域にある消防団の統合の話だと思うが、私は藤岡町に20代後半になってから移ってきたので、消防については、自治消防に少し関わったが消防団には入らなかった。今日、この委員の中にも消防団で活躍された方、現在も活躍されている方、それ以外に女性の方も参加されているので、できたら栃木市消防の全体像を、簡単にご説明いただきたい。 それと、私が住んでいる部屋地区で119番通報すると小山市消防が出て、こちらの住所を述べるとすぐ栃木市消防に繋いでくれて、出動していただいている。119番通報してから消防車が現場について消火活動に入るまでの仕事の流れを、代表的なケースで結構なのでご紹介していただけたら、委員の皆さんもご理解が深まり、今回の問題も理解しやすいのかと思う。</p> <p>栃木市消防の全体像であるが、栃木市消防本部、栃木市消防署については、私</p>

◎B委員	<p>達のことであり栃木市職員として勤めている。公的な消防としては、その消防本部、消防署となる。その他に、普段は自分の仕事をしている方が災害時に災害活動に従事していただく栃木市消防団があり、消防全体ではこの3つになる。皆さんご存知のとおり、消防本部と消防署は職業として勤めている職員がいて、通報を受けて災害の消火活動等に従事する職員である。栃木市消防団の皆様は、普段は自分の仕事をしていて、災害時に消防本部から出動指令を受けて出動してもらうようになっている。大きな工場等には、規模によっては自衛消防隊が組織されているところもある。婦人防火クラブもあり、女性の方による防火関係の啓発を行っている組織もある。火災予防週間が年に2回あるが、消防署と消防団の方で火災予防について啓発活動を行っている。</p> <p>119番通報については、携帯電話からの通報だと電波状態によっては部屋地区からだど小山市消防へ通報が繋がることとある。そういった場合は、所管の消防署へ転送し対応することとしている。出動の流れについては、栃木市消防本部の中の高機能消防指令センターがあり、市民の方から通報があったらここで市民からの通報に対応し、その災害に対応する消防隊へ出動指令をする。まず、そこを経て、現場から一番近く必要な消防隊に向かわせ、消防団については、消防団の出動が必要な場合に消防指令センターの方から消防団に出動を指令するという流れで、消防団の方には出動していただいている。</p> <p>消防団の一番の問題は、新しく入団する人がいないこと。私の地元の消防団も苦勞している。私も16年務めていたが、その時代と仕事を勤める環境が変わってきている。若い人に入ってほしくても、実際若い人はいるが拒否されてしまう。感覚が昔とは違う。私どもが消防団に入っている時も、消防は大変だ、消防団を辞めることが結婚の条件だ、と言われた人がいたほど、市民の人たちの中での消防団のイメージは、かなり古くから定着されているものがかかなり濃く残っている。消防団の活動環境は、ずいぶん出動回数も減ってきてはいるかと思う。昔は、火事となれば藤岡全域にどこでも出動していたが、そういう面では第1、第2・・・などと分けされ簡素化されたと思うが、そういった情報は市民の方には伝わっていない。各分団の広報活動もあるかと思うが、環境状況を市民の方に深く知ってもらうよう広報活動も併せてやっていただきたい。消防団というのは、敬遠されるイメージが多いので、広報活動により力を入れていただけたらと思うと共に、藤岡地域には4つの分団が各地区に設置されており、消防団に入りたい方には自分のコネクション又は自治会等を通してお願いをするが、特に私の地区はすでに自治会に入らない方もかなりいらっしゃる。そういう所も考慮すると、自治会にお願いしてもなかなか適任が見つからなく、OBが再度入団するようなこともある。そういった社会が変わっていく中で、やっぱり広報活動が重要になってくると思う。日々生活の中で、出動も大変だし、練習も大変。大変というよりも時間が取れない。私にも息子がいるが、ほとんど土日休みは無い仕事の中で、仮に消防団に入っても消防活動に入っていけない状況であり、そういう職場環境でもない。いろんな職場環境の中でも活動ができる体制というものを考慮してい</p>
------	--

○消防総務課	<p>ただけたらと思う。</p> <p>消防団のイメージアップというのは当然必要であると思う。消防団活動のPRとして、栃木市消防団のホームページ、広報紙、フェイスブック等を通して市民の皆様に消防団活動をPRしているところである。先日、栃木市消防団通常点検と分列行進が開催され、栃木の蔵の街大通りで行進していただいている姿を市民の方に見ていただくなど、継続して消防団のPRをし、イメージアップに繋がっていきたいと思っている。</p>
◎C委員	<p>先ほど、A委員から消防組織の流れについて質問があったが、私自身はこの資料で流れ的にはわかるが、実質的に市民の方からすればこの組織そのものについては極端な話、直接は関係ないと思われる。いかに迅速に対応していただけるかが重要であって、実際に必要としているのは先ほどB委員がおっしゃったように、消防団員の人たちの意見を本当に吸い上げて再編計画を作成してもらうことが一番であると思う。消防団に勤めている方の意見を聞いていただいて、勤めている方が動きやすくなる組織をつくっていただけたらと思う。</p>
○消防総務課	<p>確かに消防団の組織であるので、消防団員の皆様が活動しやすいように作成するのが重要だと思う。先ほど説明させていただいたが、この案を作成する際には、栃木市消防団再編計画検討部会を設置し、消防団の団長や各正副方面隊長の皆様に参加していただいて検討しているので、その点では消防団の意見は反映されていると考えている。</p>
◎D委員	<p>我々が消防団の時には、仕事の環境によって特例はあったが、毎晩家に帰る人やいつでも出動できることというような条件の中で、地域で自警の組織を持っていた。自警として3年務めてから消防団へ入団し6年間は務めてもらうようになっていた。自警は、災害活動で消防団が去った後の片付けをやっていた。だが、行政は自警の組織を廃止してしまった。今は自警が無くなってしまったので、直接消防団への入団をお願いしても協力できないと拒否されてしまう。再三お願いしても受けてもらえず、一人の人が何年間も消防団に従事している。それから、火の見櫓の廃止、撤去という指導もどこから出たのか。どんなに広報しても入団促進には至らないと思う。</p>
○消防総務課	<p>自警団の話かと思うが、自警団の成り立ち等については、その地域や自治会の方で様々で一概には言えないところはあるが、おそらく自警団は自治会で作られたものだと思う。市や消防で作ったものではないので、廃止等の話は消防からは一切していないし、出来ないのも自警団の経緯等はわからない。火の見櫓の廃止についても、例えば自治会で造られたものを消防の方から廃止しなさい、という話は無いと思う。</p>

◎D委員	私の聞いている話だと、自警団は必要ないから作らなくてもいいんだよ、という話が出たようで、じゃあ自治会として別に作らなくていいとなったようだが、消防団へ上がる人がいなくなってしまう。自警団が無いものだから、消防団へ上がる人がいなくて、いつまでも消防団へ入団した人が辞められない。消防団へ上げてくれと言われても難しい。小さな組織を作って育て、団員を確保するような組織があれば一番良いと思う。その辺も考えてほしい。
◎C委員	部屋地区の帯刀にも自警団がある。あるところにはあるので、廃止させられたというような事は無いと思われる。
◎B委員	先ほど申し上げた消防団組織の再編で、消防団本部体制を見直すという事だったが、これは各方面隊の隊長等が参加している会議で策定された案であると思うので、この案がベストな形なのだと推測するが、ただこの資料を見たときに統括本部ということで藤岡地域を見ると、藤岡の分団は分団長がいて副分団長がいる。これは、各方面隊から選出した統括本部の組織ができて、藤岡地域は4つの分団の中にも分団長があるという組織になる。そうすると、組織再編して指揮命令系統はスムーズになると思うが、末端の4つの分団が抱えている団員の勧誘の課題については、再編計画に基づいて団員が確保しやすくなるようには環境が変わらないと思ったので、先ほど広報活動の強化について話した。その旨ご承知おき願いたい。
◎会長	先ほどの自警団と消防団については、各地域によってのやり方があるようだが、直接、消防本部、消防団の中に自警団という組織は無いということでもよろしいか。
○消防総務課	そのとおりで、例えば栃木市消防本部等から自警団を組織してほしいという話は無いと思う。これは、自治会で組織している自警団ということでもよろしいかと思う。
◎会長	地域によっては、自警団から消防団へと繋がりがあるところもあるようだ。
◎E委員	先ほどのB委員の広報については、非常に大切なことだと思う。組織を再編したとしても、実際に団員の確保については一向に変わらないだろうと。その団員の確保についての具体的な方向性については、この計画に盛り込めないのか。
○消防総務課	消防団員の確保について、資料24ページ(1)に示している。確保の施策として、この計画作成前から、栃木市消防団サポート事業や、機能別消防団員制度を導入している。機能別消防団員制度とは、例えば原則日中の災害活動に限定するとか、活動を制限できる消防団員の制度を採り入れ消防団の確保に努めている。それについては、平成28年12月に栃木市消防団充実強化策を作らせてい

	<p>ただき、それに基づいて消防団員の確保について進めているため、この計画に盛り込むことはない。これは組織の再編計画であるため、指揮命令系統の一本化や、出動区域の見直し、分団・部の統合等及び消防団員数の見直し等、組織についての計画となっている。</p>
◎E委員	<p>別の形で進めていくということか。</p>
○消防総務課	<p>そのとおりで、消防団員の確保の施策については、この計画作成前から行っている。</p>
◎会長	<p>他に意見がないため、ここで採決に入る。栃木市消防団再編計画（案）については、適当と認める旨回答することよろしいか。</p>
	<p>— 了承 —</p>
◎会長	<p>では、適当と認める旨を回答することとする。 事務局に所定の手続きを求めた後、議事の終了により消防総務課に退席を求め、次の議題に入ることを述べた。</p>
◎会長	<p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域予算提案制度に関する「地域の課題」について <p><説明></p>
◎会長	<p>事務局に対し、説明を求めた。</p>
○事務局	<p>資料に基づいて説明した。 平成31年度実施分の事業提案に向けて検討を進めるにあたり、新たな地域の課題について、委員の意見をご提出いただきたい。</p>
	<p><質疑・意見等></p>
◎会長	<p>事務局からの説明のとおり、来年度の予算提案についてもよろしくお願ひしたい。今年度は4つの事業に絞ったため、いくつか提案事業から外れてしまったものもある。継続審議はしないため、外れてしまった事業で是非来年度も提案したいものがあれば、改めて新たな地域の課題としてご提出いただきたい。</p>
◎会長	<p>他質問、意見等がないため委員に対し、その他の協議事項の有無について確認したところ、特にないため議事の終了とし、以降は事務局が進行する旨を述べた。</p>
○事務局	<p>4 その他</p> <p>委員に対し、その他の連絡事項等の有無について確認したところ、特にないため次の3件について事務連絡をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤岡地域会議だより第9号の発行について ・第6回藤岡地域会議の会議録写しの配付について

○事務局	<p>・平成29年度藤岡地域自治会連合会主催講演会について</p> <p>次回の地域会議は、平成30年1月23日（火）午後6時30分から同会場にて行う予定の旨を周知した。</p>
○事務局	<p>5 閉会</p> <p>午後7時33分をもって第7回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。</p>

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長	小曾根 慎 一	副会長	田 中 廣
委 員	石 川 悦 史	委 員	上 岡 裕美子
委 員	神 原 邦 夫	委 員	毛 塚 渡
委 員	酒 井 雅 子	委 員	横 田 文 男
委 員	酒 井 一 則	委 員	町 田 佳 子
委 員	山土家 光 幸	委 員	野 澤 和 子
委 員	松 島 宏 恵	委 員	宮 本 育 恵

欠席者（委員）

委 員	海老沼 直 美	委 員	田 村 孝 子
-----	---------	-----	---------

出席者（事務局）

総合政策部藤岡地域づくり推進課（藤岡地域まちづくりセンター）

山 市 進（課長）	寺 崎 公 夫（主幹兼地域づくり推進係長）
広 瀬 敏 枝（主事）	山 田 智 弘（主事）

出席者（担当課）

消防本部消防総務課

本 名 義 人（主幹）	古 澤 隆（主査）
-------------	-----------